

# アゴラ通信 No.255

2016年 1月

SPACE AGORA

〒631-0076 奈良市富雄北 1-12-4

TEL/090-3941-6892 (水野)

URL/ <http://www1.kcn.ne.jp/~agora/>

↑アゴラ通信バックナンバーは上記 HP でご覧下さい。

アゴラ音楽クラブURL/ <http://www.agora-mc.com/>

 <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

## あけましておめでとうございます

年々加速する気がする時の流れ…身を任せていたら目が回りそう。  
地に足をつけて、自分のペースで歩いて行きたいものです。  
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



### アゴラ通信 255 号の CONTENTS

今号から新連載 「インドネシアよもやま話」 (パート 21・なら 馬郡繁さん) が始まりました!

- ・アゴラ音楽クラブスタッフより新年のご挨拶
- ・ツアーの  
続「こんな台湾を知っていますか?」(57)
- ・インドネシアよもやま話 (1) **New!**
- ・パソコンであんなことこんなこと (72)
- ・チョイ悪親父のボランティア日記 (26)  
～ 援人号! 番外編 ～
- ・Leaf' s "English at a glance" (93)  
I'm stuffed.
- ・アレルギーの診察室から (57)  
～サンタ・ラン～
- ・ドイツだより (117)



お正月前の花屋さんにて

## NPO 法人アゴラ音楽クラブの ゆく年くる年

代表 水野恵理子



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて NPO アゴラ音楽クラブでは 2015 年、下記のような出来事がありました。

- 3 月 7 日 近畿音楽療法学会が帝塚山大学を会場に開催され、オープニングセレモニーでアゴラ太鼓の演奏を披露しました。
- 3 月 27～28 日 第 13 回春のコンサート(みずほ福祉助成財団助成事業)は初めて前日リハーサルを行い準備にも力を入れました。
- 7 月 4 日 奈良情熱学校主催の講演会でアゴラ太鼓演奏。
- 8 月 1 日 奈良市三碓地区の盆踊り大会にアゴラ太鼓出演。  
あまりの暑さに皆熱中症寸前…
- 8 月 9 日 前年 8 月より隔月で開催してきた年少者のための音楽あそび「どんひゃら広場」最終回でした。



どんひゃら広場 リトミック



和太鼓基礎講座

8 月 23 日～ 3 週連続で学校の先生や療法士さんたち対象の「和太鼓基礎講座」を開催。エアコン入っているのに皆汗だくで頑張りました。

9 月 5 日 アゴラ太鼓結成 20 周年記念コンサート(奈良県共同募金会赤い羽根共同募金助成事業)をやまと郡山城ホール小ホールにて開催。

9 月 13 日 生駒福祉フォーラムのオープニングでマリンバチームが演奏を披露しました。

10 月 4 日 恒例富雄北ふれあい秋祭りに出演  
(アゴラ太鼓)

10 月 17 日 あゆみ祭り出演

10 月 24 日 生駒ロータリークラブ主催「希望の明かりプロジェクト」にてアゴラ音楽クラブのピアノ・マリンバ・アゴラ太鼓の演奏を披露しました。

10 月 31 日 かざぐるまで行われた「いこいこまつり」でアゴラ太鼓が演奏しました

・・・10 月は毎週出番があり嬉しい悲鳴(^o^)♪

11 月 15 日 第 2 回 HUG2 祭りに出演 (アゴラ太鼓)

12 月 20 日 生駒ロータリークラブのクリスマスパーティーにお招き頂き、ピアノとマリンバチームの演奏を披露、好評を頂きました。



あゆみ祭



生駒ロータリークラブクリスマス会

## ☆初めてのファンドレイジングの試み

そして広報理事の島本が中心になって進めてくれた初めての試み、ファンドレイジングによりアゴラのメンバーたちの作品をポストカードや一筆箋にしよう、という事業はおかげさまで無事達成することができ、新年から皆さまにご提供できるようにしてまいります。出来上がってきたポストカードは個性豊かなデザイン、色使いでとても素敵。どうぞお楽しみにお待ち下さい。



私個人としては、昨年公私共にいろいろな変化がありました。

仕事の面では常勤、非常勤ともに授業のコマ数が大幅に増えました。音楽療法・音楽レクリエーション、和太鼓講座にも力を入れています、今春からまた大きく変化しそうです。アゴラ音楽クラブももっともっと進化しなければ。

私生活の面では孫が二人誕生しました。もうすぐ1歳を迎える孫たち、やはり無条件で可愛いです。この子たちがのびのび育つ環境を維持したいと心から思いますが、国の行く末、世界の行く末は…なんだか不安要素がいっぱい。手をこまねいているだけでなく微力ながらも変化に向けて力を尽くしていきたいと思えます。

## 森田あや先生 (マリンバ)



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、アゴラ太鼓結成20周年おめでとうございます。記念コンサートが盛大に行われ、そこで私も少しではありますがお手伝いをできましたこと、嬉しく思います。結成当初からのアゴラ太鼓の歩みをまとめたスライド映写を観て、そしてメンバーの演奏を聴いて、やはり「継続は力なり」…続けることの大切さを学んだ気がします。

また、昨年は、講演会のオープニング演奏やパーティでのゲスト演奏など、また新しい演奏の場をいただけ、そこでも立派に演奏をしたアゴラ音楽クラブのメンバーに拍手を送ります！

今年もさらに飛躍する年でありますように。

## 水崎一充先生 (和太鼓)

あけましておめでとうございます。

年々パワーアップしているアゴラ太鼓！

さらなる成長を続けていきますよう

共にがんばりましょう。

本年もよろしくお願ひ致します。



## 北島順子先生（ダンス）

あけましておめでとうございます。

公私共に親しくおつきあいのあった鎮目久美子先生の後を引き継ぎ、2015年7月からダンス指導を担当させていただくことになりました。月1回のダンスレッスンは、鎮目先生のことを思い、偲びながら、ダンスを通じて、アゴラのメンバーたちといっしょに過ごす大切な時間になっています。いつも鎮目先生が見守ってくださっているような、あたたかい気持ちになります。

今年も伸び伸び、生き生きと楽しく踊りましょうね！

アゴラのメンバーや保護者の皆様、先生方との新たな出会いに心から感謝！！



昨年、共著『教科書が語る戦争』をNPO 法人大阪公立大学共同出版会（OMUP）より出版することができました。「二度と戦争を繰り返さない！」、「平和な未来を子どもたちに！！」という願いを込めて執筆しました。戦争体験の記憶、教育・教科書の歴史を次世代に伝えることが今後の課題です。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 島本真梨子（バイオリン）



新年あけましておめでとうございます！

昨年は間違いなく私のこれまでの人生で一番変化の多い年でした。

急激な変化にめげそうになるも、夫婦でヒーヒーいいながら助け合い、なんとか乗り越えたという感想です。

また、教室や演奏の仕事をするために特に大きな助けとなったお義母さんを初めとする家族の協力に心から感謝する一年でした。

また、これまでも教室のこどもたちを通して、次世代への押しつけが目立つ社会に不安を抱いてきましたが、昨年はより一層心配事の増える年でもありました。悲しいことや、先への不安が多すぎました。

どうか今年は、少しでも世界が平和で笑顔のあふれるものとなっていきますように。

そしてみなさまひとりひとりにとって、通信をお読みになっている今が、幸せな新年のはじまりでありますように。

### **NPO 法人アゴラ音楽クラブ**

### **第14回秋のコンサート（今年は“春”ではなく“秋”になりました）**

2015年9月3日（土）

13:00 開演

やまと郡山城ホール小ホール

入場無料

## ツリーの

## 続「こんな台湾を知っていますか？」⑤

並木由香

## 新年好。馬上封侯(猴)。吉祥如意。

(新年おめでとうございます。すぐに出世します様に。縁起よく思い通りになりますように。)

お猿さんのことを中国語で「猴子(ホウズ)」と言います。「侯爵」の「侯」の字と「猴」の発音が同じで、侯爵は五つの爵位のうち二番目に高い位ですから、申年は良い年と考えられています。馬上(マーシャン)という中国語は「直ぐに」「間もなく」という意味で、昔は馬に乗って行くのが最速の交通手段だったので、そこから生まれた言葉の様です。ですから「馬上封侯」は「直ぐに高官に封ぜられますように」という意味になり、出世を願う縁起の良い言葉です。また、「侯」の字を「猴」に置き換えて、その文字の通り、馬と、その背中に乗ったお猿さんの組み合わせは、出世祈願のおめでたい図柄とされています。

そこで、先日から話題になっているのが「元旦マフラー」です。近年、元旦早朝の台湾総統府恒例行事、国旗掲揚式で、馬英九総統はじめ、参列のお偉方の面々が、台湾国旗をイメージした御揃いのマフラーを着用しています。元々式典の参列者に配られた物でしたが、



式典の様子が新聞やニュースで報道されるや否や、このマフラーの話題が沸騰し、翌年からは元旦マフラーとして一般販売されるようになりました。今回は900本が式典関係者に配られ、29100本が一般販売されました。今年の柄は台湾国花の梅の花、客家の象徴である桐の花、台湾原住民の民族衣装の柄を織り交ぜて、台湾の心は一つ、民族の融合を表現しています。ちょっと見た感じが英国っぽくて素敵、と評判も上々です。

ところが、このマフラーの発表より一足先に、別の会社が右の写真のマフラーを発売していました。こちらは「馬上封侯」の文字に馬と猿の図柄。五つの梅の花は「五子登科」(5人の子供全員が科挙に合格する。転じて家族の成功、繁栄を意味します)を表し、真っ赤な総統府、年号の部分には緑色が配色されています。



今年、台湾では1月16日に総統選挙があります。与党国民党と野党民進党の候補の一騎打ちになる見込みで、国民党のシンボル(写真右下)が青と白、対する民進党のシンボル(写真左下)が緑と白の配色です。現総統の名前が「馬」さん、そして目下最も総統の椅子に近い候補と言われている民進党の蔡英文さんが申年だそうで、馬の上に乗った猿のバックに描かれているのが総統府



となれば、民進党が国民党馬英九政権を制し、申年の蔡英文さんが出世して総統府の住人となる、という意味に捉える人も多く、民進党支持者にとっては何とも幸先の良い、縁起の良いマフラーだと大好評だとか。

実は、このマフラーを制作した会社は、昨年まで8年連続で元旦マフラーの制作を委託されていたのですが、今年は他の会社に委託先が変わってしまったのです。それを考えると、これは委託されなかったことへの腹いせに作った、国民党政府に対する嫌味がたっぷり込められたマフラーでは？と勘繰ってしまいます。その会社の社長さんは「緑を配色したのは、大草原を疾走する馬をイメージしたからです。また、馬上封侯の言葉、図

柄に関しても、縁起の良い言葉なので引用したままで、政治的な意図はありません。」と弁明していますが、果たして真相は？

## 高通通（ガオトントン）と高雄熊（ガオションション）

「吉祥」とは「おめでたい事」という意味です。中国語で「吉祥物」と言えば、直訳すれば「縁起物」ということとなりますが、最近では「ゆるキャラ」という意味で使われています。台湾でも「くまもん」は、それはそれは凄い人気です。日本のゆるキャラブームの影響なのか、台湾にも沢山のゆるキャラがいて、高雄市だけでも30を超えます。

先日、高雄各地のご当地ゆるキャラの中から、人気ナンバーワンを決める「吉祥物PK戦」が開催されました。見事一位に輝いたのは、高雄市農業局のゆるキャラ、大地の妖精「高通通」でした。高通通は高雄のフルーツや農産物のPRに貢献しています。デパートなどでも、若いイケメンの農業青年のポスターと彼らが生産した農産物や加工品などと共に、高通通のフィギュアがディスプレイされ、大活躍です。

惜しくも2位になってしまった高雄観光局のゆるキャラ、高雄熊は、真っ黒の体に真ん丸お目目、赤いほっぺ、あれれ？どこか見覚えが…日本のくまもんや似すぎじゃない？ひょっとしてまねた？などと言われています。高雄観光局は「高雄熊は台湾黒クマです。熊の特徴なんてどれも大差ありませんし、それに、熊を可愛くしようとすれば、どうしても似てしまいますので、それで皆さん錯覚されるのかと…」とのことで、あくまでもオリジナルだそうです。台湾黒クマは絶滅危惧種で、襟元の毛が白いのが特徴です。ツキノワグマと同じでしょう。最後に野生の台湾黒クマが発見されたのが高雄だったこと、また、高雄の「雄」の発音が「熊」と同じだということ、それらの理由からクマを高雄観光局のマスコットにすることになったということです。

ところで、高雄熊が穿いているズボン、可愛いでしょ？高雄に「美濃（メイノン）」というところがあります。この土地の地名を原住民が発音するのを日本人が聞くと「みの」と聞こえたため、「美濃」の漢字をあてて日本人が付けた地名です。ここは客家の里で、高雄熊は、客家の伝統柄である牡丹や桐の花のカラフルな柄の布「花布（ホァーブー）」を使ったズボンを穿いています。花布は日本のファッション誌でもとりあげられ、台北では、若いデザイナー達の花布を使ったバッグや小物、ワンピースなどのお洒落なお店があり、お土産に買って帰る人も増えています。



高雄熊

高通通



高通通と高雄熊、日本にもPRに出かけることもありますので、どうぞよろしく。

ではこの辺で、再見！！

# インドネシアよもやま話

サポート 21・なら  
馬郡 繁

## 第1回 インドネシアとの出会い

今月から、「インドネシアよもやま話」を連載させて頂くことになりました。まず、自己紹介をさせて頂きます。自称「アゴラ音楽クラブ専属カメラマン(非公認)」です。コンサートの会場で、カメラをもってうろうろしているおっさんをご覧になった方もおられると思います。障がい者の就労と自立を支援している活動をしています。障がいのある子ども達への支援という共通の想いで、水野先生とお知り合いになりました。詳細は「サポート 21・なら」のホームページをご覧ください。(「サポート 21・なら」で検索して下さい)



インドネシアというと、皆さんは何を連想するでしょうか? 多くの人は、「バリ島」を連想するかも知れません。バリ島は日本人にとって、人気の高い観光地です。しかし、バリ島はインドネシアでも特別な地域なのです。インドネシアは95パーセントの国民が、イスラム教ですが、バリはヒンズー教です。文化も異質です。つまり、インドネシアの様でインドネシアでないのが、バリ島なのです。

現在、インドネシアの人口は、約2億4000万人。ほぼ、赤道直下に位置し、気温は1年を通して30度前後で、乾季と雨季があります。人口の約半分が35歳以下と労働力が豊富な国です。このことは、将来の発展性を秘めた国とも言えます。

私は、1999年から2003年までインドネシアの首都ジャカルタに赴任しておりました。現地の生産会社の責任者として、長期出張も含めて4年半ほど赴任し、その間いろいろな経験をさせて頂きました。今回、このような機会を頂いたので、当時のメモを頼りに振り返ってみたいと思います。但し、15年以上昔の話であり、現在の状況とは、大きく変わっている所もありますのであらかじめご了承ください。(写真は首都ジャカルタの象徴モナスです)

当時、私の会社の所属部門が海外に工場を作る事になり、東南アジアを中心に候補地を絞り、最終的にインドネシア・ジャカルタ郊外の日系商社の開発した工業団地に工場を建設しました。1996年のことです。前年の95年に現地で採用した、一期生の中から幹部候補者を選び、日本で半年間の研修を行いました。この時に、私が日本での研修責任者となり、将来インドネシアへの赴任者の候補として暗黙の既成事実となったようです。研修と並行して、工場設備をプラント輸出する為の、膨大な申請資料作りと、生産用のマニュアル作りに明け暮れました。96年に工場が完成すると、さっそく立上げメンバーとして、長期出張ベースで、彼らと工場の立上げに臨みました。ジャカルタの港から、40フィートコンテナを積んだトラックの車列が延々と高速道路を走る姿は壮観でした。船便で間に合わない物は、当時のJALの

ジャカルタ便のカーゴスペースを一定量・一定期間全便貸し切って空路でも運び込みました。

インドネシアの人々は、概ね親日的です。よく、タイが「ほほえみの国」と言われますが、インドネシアの人々も我々を見ると、ほとんどの人がにっこりとほほ笑んでくれます。日本から来た、若い出張者が「あの娘は、オレに気がある」とよく勘違いをしておりました。現地責任者の私は、「イスラム教では異教徒との恋愛は禁止である。現地の娘に手を出すと、宗教庁に逮捕されるぞ」と脅かしたものでした。(逮捕はウソですが、異教徒とは結婚できません)日本人にとっては、住みよい国です。



工場の立上げも何とか終わり、本格的に稼働した所で一旦、日本にもどり、日本から現地をサポートする仕事を行いました。その間、定期的に出張ベースで現地に行っていました。そして、2003年4月1日付の辞令をもらい、3月末に現地へ赴任しました。出張の時は、いつも往復のチケットをもらって行きますが、辞令と共に片道のチケットを渡された時は、感慨深いものがありました。(写真は赴任先の工場です)

現地での生活が始まると、出張の時には分からなかった様な事が、毎日の様に起こりました。まさに異文化体験の連続です。いろいろな体験をテーマ毎にまとめて、次回以降書いていきたいと思えます。住宅事情・グルメ・交通事情などに触れたいと考えています。私は、写真が趣味なので、滞在中に沢山の写真を撮ってきました。また、何かの機会に皆さんに写真を見て頂けたらとも思っています。

赴任は単身赴任でした。赴任当時は社員が約700人、帰国する時には約1000人の社員がいました。日本人は4人、私以外は、家族帯同です。私より若いので、子どもも小さく帯同しやすかったせいもありますし、会社も家族帯同を奨励していました。私は、当初から単身赴任の積りでした。同じ時期に、長男も大学進学で、金沢でひとり暮らしを始めました。3月最終週の木曜日に長男が、土曜日に私が家を出ました。1週間で4人家族が一気に2人になってしまい、家人には気の毒な事をしました。家族が奈良・金沢・ジャカルタと3カ所でバラバラの生活をする様になったのです。4年後には再び4人家族に戻れるかと思ったのですが、結果的には長男は院まで行ったので6年を金沢で過ごし、そのまま横浜の会社に就職することになったので、結局、家族全員が再び揃う事はありませんでした。

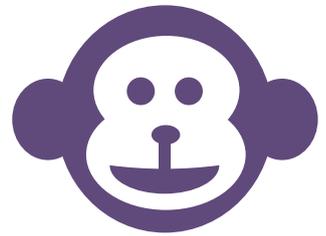
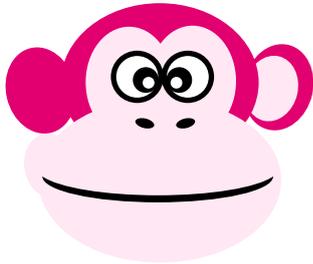
料理や家事を一切やったことのない(出来ない)私が、4年以上に渡って単身赴任でやってこられたのは、お手伝いさん(メイド)のおかげです。インドネシアでは、外国人だけでなくインドネシア人でも、中流以上の家庭では大抵、お手伝いさんを使います。このお手伝いさんのエピソードも沢山ありますので、また後で触れてみたいと思えます。結果的には、楽しいインドネシアライフを堪能させてもらいました。もちろん、困った事や嫌な事もありましたが、それ以上に貴重な経験をさせてもらいました。海外での生活を経験するという事は、人生にとっての一大イベントでした。心残りは、こんなすばらしい経験が出来るのなら、40代から志願して行っておくべだったと思ったものでした。

つづく

## パソコンであんなこと、こんなこと

 ハロー! パソコン教室 小林 俊彦

皆さん、あけましておめでとうございます。ハロー! パソコン教室 富雄校の小林です。今年もよろしくお願ひします。今年の年賀状はワードの図形(ほとんど○です)を使って2種類のお猿さんを書いてみました。それなりに可愛く描けたと自己満足しています(笑)。ワードの図形でも結構色々なイラストが描けるでしょ! ハロー! パソコン教室では、このようなワードでのお絵描きをする講座もご用意させていただいています。お仕事ではワードの図形で簡単な地図を作ることもできますよ。



ところで12月2日は家内の誕生日だったので、家内が行きたがっていたので「そうだ! 出雲に行こう!」ってことで、日帰りで出雲大社までドライブしてきました。さすがに出雲往復は結構な距離でしたが、無事出雲大社にお参りできてとっても気持ちが良かったです。

でも悲しかったことが一つ...実は出雲で楽しみにしていた日御碕の花房商店さんのように井が定休日では食べられませんでした(涙)。次は花房商店さんがお休みではない日に行くぞ!



ハロー! パソコン教室 富雄校では1月末まで先着30名様限定で、「新春のご入会キャンペーン」を実施します。Windows10の基礎講座もリリースになり、「パソコンを買い替えたら使い方が...」という方も安心してご入会いただけます。「今年こそパソコンを使えるようになりたい」、「スキルアップしてビジネスでもパソコンを使える私になろう!」、「もっとパソコンを楽しみたい!」皆様の色々なご要望にお応えさせていただきます。ぜひお得なこの機会にご検討ください。無料体験レッスンも随時行っておりますので、ご希望の方はお気軽にお電話(0742-46-4186)でお問い合わせください。

### 【Windows10】

前回までにWindows7やWindows8.1のパソコンを、無償アップグレードでWindows10にアップグレードする方法についてご案内させていただきました。しかしWindows10へのアップグレード後に不具合が生じるなどで、元のWindowsに戻さないといけない場合もあると思います。今回はWindows10へのアップグレード後に元のWindowsに戻す方法についてご案内させていただきます。

## 元のWindowsに戻すには

元のWindowsに戻す方法としては、アップグレード後31日以内とそれ以降で大きく2つに分かれます。アップグレード後31日以内で以下の操作をされていない場合は、回復機能を使用してWindows10のインストール前の状態にパソコンを戻すことが可能です。(アップグレード後31日間は回復機能を使用する可能性がありますので、以下の操作はされないことをお勧めします)

- ・ユーザーアカウントを追加している
- ・ディスククリーンアップを実行している
- ・PCを初期状態に戻す操作を行っている
- ・ローカルディスク内の「windows.old」および「\$windows.~bt」フォルダーの内容を変更している
- ・アップグレード時にUSBハードディスクやUSBメモリを使用した場合、USB機器からアップグレード用のデータが削除されている

アップグレード後32日以上経過されている場合は、回復機能を使うことができませんので、リカバリー(パソコンの購入時の状態に戻すこと)を行うこととなります。リカバリーの場合は、ご自身で作成されたファイルや保存されている写真・音楽、メールのデータなども全て消えてしまいますので、予めこれらのファイルをすべてバックアップしておいていただく必要があります。

## 回復機能の使い方

元のWindowsに戻す回復操作は以下の手順で行えます。

1. 「スタートボタン」→「設定」をクリックして開く「設定」の画面で「更新とセキュリティ」をクリックします。
2. 「更新とセキュリティ」の画面で左側にある「回復」をクリックします。
3. 画面右側の2つ目のセクションに「Windows8.1に戻す」(Windows7からアップグレードした際には「Windows7に戻す」)欄にある「開始する」のボタンをクリックします。
4. 「以前のバージョンに戻す理由をお聞かせください」、「知っておくべきこと」、「ロックアウトされないようご注意ください」が表示されますので、それぞれの画面で内容を確認して「次へ」をクリックして下さい。
5. 「Windows10をお試しいただきありがとうございます」の画面で「Windows8.1に戻す」(Windows7からアップグレードした際には「Windows7に戻す」)のボタンをクリックすると元のWindowsに戻す作業が始まります。パソコンの性能やインストールしているソフトの数、保存しているファイルの量にもよりますが、そこそこ時間(Windows10へのアップグレードにかかった時間程度)のかかる作業になります。

これでまず元のWindowsに戻すことは可能です。しかし一部のアプリは元に戻らないなどの報告もありますので、できればWindows10へのアップグレードを行う前に、Acronis True Imageなどディスクイメージそのものをバックアップできるソフトで、正常に動いていた元のWindowsの状態をバックアップしてからアップグレードされる方が無難だと思います。

ということで今回はWindows10にアップグレードした後に元のWindowsに戻す方法をご紹介させていただきました。次回ももう少しだけWindows10へのアップグレードにかかわるお話をさせていただくつもりです。



## ハロー!パソコン教室 富雄校

〒631-0076 奈良市富雄北1丁目12-4 アゴラハイム1F

TEL (0742) 46-4186 (ヨイハロー)

e-mail : info@hello-pc.co.jp

URL : http://www.hello-pc.co.jp/

## 「チョイ悪親父のボランティア日記」その26

山田穂積

～ 援人号！ 番外編 ～

前回に引き続き、援人のお話なのですが、今回は番外編。ボランティア活動の中でハプニングがありました。でも、その時の行動こそ、ボランティアの本質かもしれないと思いました。今回は、そのお話を少々。心温まるお話です。



### □■ 1 東北での出会い 何と出会った？

福島県南相馬市にボランティアに行きました。車中泊ですから、朝はボランティアセンターが開くまで、地元で待機です。東北大震災の慰霊観音をお参りに行ったとき、草むらからカモメのなく声がするのです。“ミーミー”。後で考えたら、カモメの鳴くと思ったのは思い込みで、草むらをかき分けて拾ってきたのはなんと、捨てられた子犬だったのです。

その数、5匹。残念ながら1匹はすでに冷たくなっていました。その子たちを草むらから拾ってきたのです。私は、正直、どうするんだろう？と思いました。拾ってきても、あと育てる人がいるんだろうとか、受け入れ先はどうするの？とか。

### □■ 2 大事なものは何なのか？

子犬を拾ってきたときに、最優先は何なのか？私は、間違っていました。次のことばかり考えて、今その時に大切なことに思いが至っていませんでした。そう、その時に大切なことは、子犬の命を救うことでした。援人チームは、迷いがありませんでした。拾ってくる。命を救うために、獣医さんを探し出す。受け入れてくれる獣医さんに連絡して、子犬を連れていく。こんな流れがすごく自然に、全員の行動として出来ているのです。そして、開院までの時間、スタッフの一人をお世話役として置いていく



のです。子犬の子守役を担当した人も、何の迷いもありません。「あとで、合流するからね～」と言って、役割分担が自然な流れで出来ていくのです。後で、わかったことは、援人チームは私のような新人さんは少なく、何回も参加しているベテラン揃い。アウンの呼吸で、自然と役割分担が決まっていくのです。

### □■ 3 どうするんだろう？

南相馬でのハードなボランティア活動の後、預けていた獣医さんのところに行きました。子犬たちは、朝はみんな冷たかったのに、獣医さんのお陰で体温も上がり暖かくなっていました。さて、この四匹、どうするんだろう？結論は、出ていました。東京に連れて帰るって！ これもビックリポンでした。四匹もどうするんだろう？え～、育てるの？誰か引き取ってくれるの？でも、これも余計な心配だったのです。



#### □■ 4 次々と・・・そして・・・

四匹を預かって育ててくれる人が立ち上がりました。ん～、何とかなるのかなと思っていたら次の週にまた、同じような地域で4匹の捨て犬があったのです。なんと8匹です！ ネットで、情報が流れて養育費（食事代）が必要とのこと。援人チームに寄付の要請が流れました。もちろん、東北のボランティア活動になかなか参加できない私は、参加させていただきました。

で、この8匹どうなったかという、全匹貰い手が現れて行き先が決まったのです。ぎりぎりまで、兄弟のように愛情一杯と一緒に育てて、それぞれに貰い手のところに出発しました。

援人チームが拾わなかったら、亡くなった8匹の命。この8匹が愛情一杯に育ち、それぞれの暖かい家庭に家族の一員としてもらわれていきました。



#### □■ 5 ボランティア活動の本質、またひと勉強でした。

私は、ボランティア活動を長い間いろいろな形で行ってきました。でも、今回の子犬の件は目からウロコでした。今大切なことを見極める力。それをチーム全体で同じ価値観で受け入れる力。自然とふさわしい人が担当をしていくチームワーク。そして、必要なことがあれば、それをみんなで支えることができるネットワーク。南相馬で2週続けて8匹の子犬を助けて、それを東京に持って帰って育て上げ、貰い手を探しバトンタッチまで完遂！ 見事でした。

(来年も・・・)

2016年もいろいろなことが起きる年になると思います。でも、損得などのない、ボランティア精神を持って活動していければ、自己の存在価値が見えてくると思うのです。アイデンティティの確立には、ボランティア活動が一番の近道かも？ どうぞ、幸せないいお年をお迎えくださいネ。

## Leaf's "English at a glance" 93

Larry Dodds / 西潤子

### I'm stuffed.

Happy New Year!

年末年始の過ごし方は、各家庭でいろいろな形があるのではないかと思います。私は、実家の家業の性質上、ごく一般的な家庭の新年の迎え方とは多少違う新年を、物心ついたころから迎えてきました。わが実家は、大阪の黒門市場で和菓子屋を営んでおり、毎年大晦日の真夜中頃まで家族総出で、鏡餅、雑煮餅、お正月用のお茶菓子等の製造販売に追われます。紅白歌合戦は、仕事の片付けの合間に最後の方をちらりと見られればいい方でした。元旦は家族全員で寝正月ですから、初詣にも一度として行ったことはありませんし、母がおせち料理を手作りしたことも、もちろんありません。ですから、残念ながら、私はおせち料理の作り方を伝授されていないため、今も一品たりとも作りません！（あ～、いい言い訳があって、よかった！）

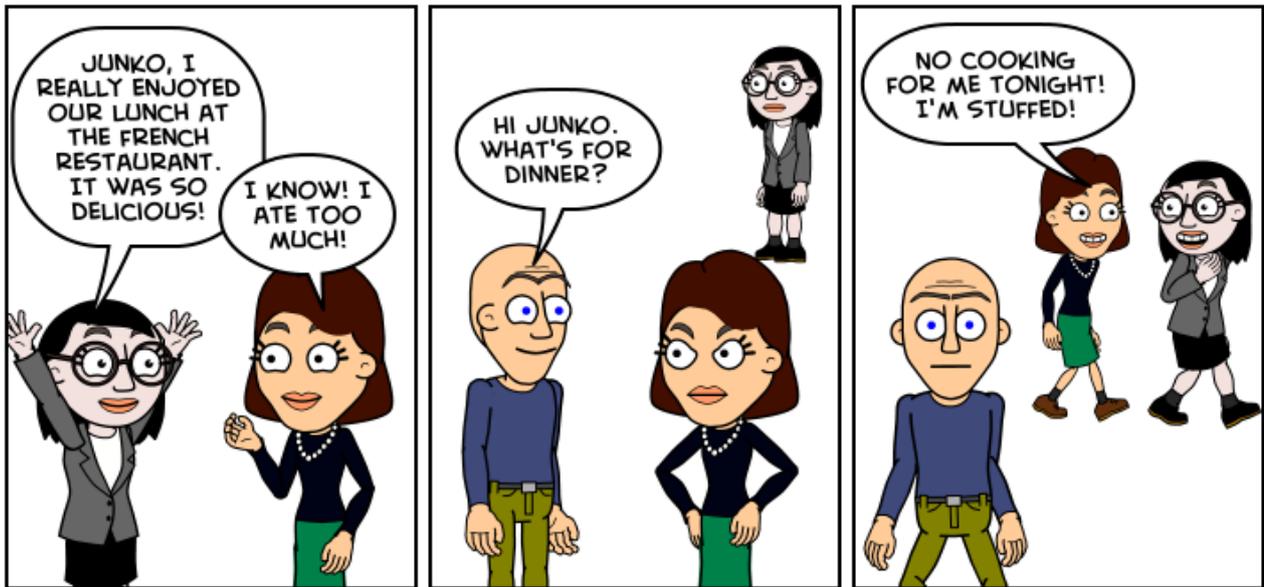
ではまず、今日の会話文から見ていきましょう。

conversation – (with your friend)

- A: This lunch was so delicious.  
B: I love Italian food!  
A: I'm going to look at the dessert menu. I might have a piece of tiramisu.  
B: Dessert?! Can you still eat? I'm stuffed!  
A: Me, too, but I can always make space for dessert!

女友達二人の会話です。Aさんが、「今日のランチ、すごく美味しかったわ。」と言い、Bさんが、「イタリアン、大好き！」と答えています。Aさんが、「デザート・メニュー見てみるわ。ティラミス食べようかしら。」と言うと、Bさんが「デザート?! まだ食べられるの?…」と言って、今日の表現が出てきます。“I'm stuffed.”とは、学校で習った表現に置き換えると、“I'm full.”です。つまり、Bさんは、「私はおなかいっぱいよ!」と言っているのです。“stuff”は動詞で、「物をいっぱい詰める」という意味ですから、“I'm stuffed.”は、「私はいっぱい詰め込まれたわ。」というニュアンスです。関連した表現の“stuffed toys”は「ぬいぐるみ」という意味です。さて、そのあとのAさんの言い訳のセリフは、「私も(おなかいっぱい)よ。でも、デザートを食べる余地はいつでもあるのよね。」と続きます。「デザートは別腹」ということですね。

では、今日のコミックです。



[1コマ目] 私の友人が、「潤子、今日のフレンチ料理のランチ、すごくよかったね！本当に美味しかった！」とうれしそうに言い、私も「そうよね！食べすぎちゃったわ！」と言っています。[2コマ目] そこへラリーが現れ、私に、「今日の晩ご飯は何か？」と聞いています。[3コマ目]私は、「今晚は、私は料理しないわ！おなかいっぱいだし。」と言い、友人と去っていきます。自分がおなかいっぱいの時には、料理がしたくない気持ち、わからないでもないですよ！

冒頭のおせち料理を作らない現実の私に、コミックの中の晩ご飯を作らない悪妻キャラの私。ここまで読まれた方は、どうやら、私は料理をしない女なのではないかと想像されているかもしれません。お恥ずかしいことながら、実は正解で、料理はできればあまりしたくない、というのが本当のところ。ただし、実家の餅は山ほどもらってきますので、お正月のお雑煮だけは、たくさん炊きます。おせち料理は少し苦手なラリーも、西京みそのお雑煮は大好きで、「どうして、お雑煮は正月だけしか作らないのか？こんなに美味しいのに！」と言いながら、ぱくぱく食べています。



奈良市富雄元町2丁目5-20(トミオプラザビル1F)

tel:0742-52-3933 fax:0742-52-3934

## アレルギーの診察室から 57

## -- サンタ・ラン --

土居 悟

サンタ・ランとは参加費（衣装代こみ）を払って、サンタクロースの衣装を着てランニング（または散歩）するイベントです。その収益が病気と闘う子ども達へのクリスマスプレゼントになります。今年の参加費は1人3000円でした。大阪では2009年から行われていて、私たちの病院にも毎年プレゼントが届きます。イギリス・スコットランドのエジンバラで開催されているサンタ・ランに感動した女性が日本でもこのイベントをしたいと思って関係者にメールを出したことがきっかけで大阪でも始まりました。プレゼントを届けてもらっているお礼も兼ねて、11月29日の日曜日、病院の有志で大阪城公園まで行ってきました。大阪城の周囲約5キロメートルをサンタ・ランならぬサンタ・ウオークしてきました。秋の公園は一部紅葉していて、天候にもめぐまれすがすがしい一日でした。



そして、12月17日木曜日の夕方、私たちの病院にサンタさんがやってきました。今年は英語も日本語も何語でも？話せるという、米国サンタクロース協会公認のサンタさんでした。小児病棟のクリスマス会の会場は、楽しいイベントで盛り上がっていました。サンタさんが来るとは知らなかった子どもたちは、本格的なサンタさんの突然の登場に、一瞬固まってしまった子どももいたのですが、驚きそして大喜びでした。プレゼントを貰ったときの笑顔はみんなも幸せにしました。この時の写真の一部は OSAKA GREAT SANTA RUN のフェイスブックに掲載されています。ボランティアの人たちがサンタの衣装を着ておもちゃや絵本を買いに行き、病院に届けるまでの舞台裏に密着した映像は、24日のクリスマス・イブの夕方に読売テレビで放送されました。



さてそのサンタクロースですが、ヨーロッパの聖ニコラウス信仰がいかなる変遷をへて現代のサンタクロースになったのかは、葛野浩昭さんの『サンタクロースの大旅行』（岩波新書、1998）で分かりやすく解説されました。この本を読んで興味をもったエピソードを以下に紹介したいと思います。

1994年、ノルウェーのリレハンメルで冬季オリンピックが開かれました。その開幕式典の冒頭に、「サンタクロース民族」のサーミ人たちがトナカイの橇で登場し、ヨイクと呼ばれる歌をサーミ語で熱唱しました。サーミ人はノルウェーに45000人、スウェーデンに25000人、フィンランドに5700人、ロシアに2000人が住んでいますが、いずれの国でも少数民族です。ノルウェーは少数民族ではあるが自らの国の先住民族であるサーミ人に最大限の敬意を払ったと言えます。また、ヨイクを熱唱した男性はフィンランド国籍を持つサーミ人でしたので、ノルウェー国籍にもこだわりませんでした。

葛野浩昭さんは、リレハンメルでヨイクを歌った人の姿が、北欧のサンタクロースの性格を象徴していて、国籍や民族といった垣根の風通しをよくすることへの努力を続けている北欧諸国こそ、世界中の子どもたちのもとに自由に旅するサンタクロースが住む国々としてふさわしいと言っています。葛野さんは、北欧の小国が中立・平和国家のイメージを持つように、フィンランドが国を挙げてサンタクロース事業に取り組んでいったことを説明しています。フィンランドの首都ヘルシンキで発行されている英字新聞『シティ』が1997年に行った読者アンケートの「フィンランドにとってもっとも重要な人物は誰だと思いますか」という問いに対する答えの第1位はサンタクロースで、44%という圧倒的な支持を集めました。サンタクロースは平和のシンボルだと思います。

ところで、ギリシャではサンタクロースは12月24日ではなく、大みそかに来るのだそうです。そして、新年を迎えます。2016年が平和な年でありますように。



## ドイツだより 117

新田 イエルマー 淑子

ヨーロッパにとっては、まさしく“激動の1年”といえる2015年が幕を閉じようとしています。ISを巡る中近東の混乱、紛争は避難民の大移動、テロ事件の脅威拡大となって解決の糸口さえないまま新たな規模でヨーロッパを巻き込み、ドイツもとうとう軍事戦力をシリアに送り、アフガニスタンから全面引き上げる予定だった防衛支援目的の軍隊も残留措置を余儀なくされる事になりました。

難民対策もその根本の原因を解決する事が肝心、といいながらドイツの兵器輸出の一番の得意先がサウジアラビアで、その武器がISに流れているというのが多かれ少なかれ事実ということなのに、経済最優先の世の中ではこの悪循環、不条理を断ち切る事が出来ないという理屈が私のような“世間知らず”には納得できません。この理屈で億万長者はますます富を増やし、難民救済のために自国の貧しい層が自分たちの社会福祉が犠牲となるのではと、難民収容所に放火したりという実に心ない短絡的な憎悪を招いたりしているのですから。

“天災”に依る被害も益々増える一方に思えます。パリであのテロ事件の後万難を排して開催された“世界環境会議”（と訳されていますか？）では大勢の参加者の熱い思いが新たなプロトコールとなってポジティブに決議されたようですが、実際に行使され実を結ぶまで地球は生き延びられるのでしょうか？月旅行も夢でなくなり、火星探索も着実に進んでいるとはいえ、、、。

ミュンヘンの街中も本当に様々な人種入り乱れてコスモポリタンになっています。地下鉄に乗っても聞こえてくるのは聞いた事も無いような言語ばかり。今年のクリスマス市は命がけで故郷を後にして来た難民の人達に、物に溢れた豊かな社会の中でささやかな喜びや希望、安らぎを与えられたらう事で、いつもの“ありきたり”と違った意味があったことでしょう。“ありきたり”のクリスマスプレゼントを殆ど義務のように買う為にラストスパートする（私もその一人）雑踏の中で、12、3歳の黒人の男の子が一人で不自由な片足を（地雷に当たったのか、それとも逃亡中の怪我か無惨に折れ曲がっていました）引きづりながらエスカレーターを乗り降りして、苦労しながらも物珍しげにあたりを見回しながら歩く姿を見かけました。身なりも清潔だったし、きちんと保護されているのだとは思いますが、溢れる買い物客で店員達もストレスで殺気立つ中、言葉も出来ないだろうに、危ない目にあたりいやな思いをしないだろうか、と後々まで心に残りました。“アリバイ”プレゼントに消費するお金で彼は松葉杖が買えるだろうに、と。

ともかくにも来る2016年が少しでも穏やかで希望の見える1年となりますよう。

日本の皆様のご健康とご幸福をお祈りいたします。